

美術館へ行こう ~ A Day in the Museum ~

2011年一正月は家族で美術館へ行こう!! **1月2日は無料入館日**(東京国立近代美術館(本館・工芸館)、ポーラ美術館)

2011
1/2
(H)

東京国立近代美術館

The National Museum of Modern Art, Tokyo

2011年一正月は家族で美術館へ行こう!!

1月2日は無料入館日

皇居近く 日本で最初の国立美術館

美術館(本館)では、日本画、洋画、版画、水彩・素描、彫刻、写真など、約10,000点に及ぶ所蔵作品の中から約200点の作品を選び、近代美術の流れを概観する展示や、特定の作家やテーマに沿った展示を行っています。

旧近衛師団司令部庁舎(重要文化財)を改修し、開館した工芸館では、明治以降の日本と外国の工芸やデザイン作品、約2,900点を収蔵しています。



美術館(本館)外観 撮影:上野潤宏 美術館(工芸館)外観



本館 中村 森(エロシェンコ氏の像)1920年 重要文化財



工芸館 姫御女(着)1957年

◎お問い合わせ先/03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.momat.go.jp>

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1(美術館)

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園1-1(工芸館)

◎交通のご案内/東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口 美術館:徒歩3分/工芸館:徒歩8分

東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下駅」2出口 徒歩12分(工芸館)

2011
1/2
(H)

ポーラ美術館

Pola Museum of Art

2011年一正月は家族で美術館へ行こう!!

1月2日は無料入館日

印象派の巨匠の作品が一堂に会する美術館

ポーラ美術館は、「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに開館いたしました。総数約9,500点のコレクションの中核は、19世紀フランス印象派やエコール・ド・パリなどの西洋絵画400点であり、また日本の洋画、日本画、東洋陶磁、日本の近現代陶磁、ガラス工芸、化粧道具なども多数収蔵し、大変幅広いコレクションとなっております。優れた作品と、美しい緑の自然、そして光に満ち溢れた建築空間が織り成す美の世界をお楽しみください。



クロード・モネ《蓮池の池》1899年



美術館外観 撮影:石黒守



◎お問い合わせ先/0460-84-2111(代表) <http://www.polamuseum.or.jp> 〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285

◎交通のご案内/【電車・バスご利用の場合】「小田原駅」より箱根登山線乗車。「箱根湯本駅」乗り換えで「独羅駅」下車後、観光施設めぐりバスにて13分「ポーラ美術館」下車
「小田原駅」または箱根登山線「箱根湯本駅」より湖尻・桃源台行バスで「仙郷橋前」下車後、観光施設めぐりバスにて3分「ポーラ美術館」下車

【お車をご利用の場合】東名御殿場ICより乙女峠経由、仙石原・小塚山まで約20分

東名厚木ICより小田原厚本道路、箱根湯本、宮城野経由、仙石原・小塚山まで約65分

内閣府認証「特定非営利活動法人 美術ファンクラブ」は、一人でも多くの人々が日常生活の中で美術を楽しむ手助けになることを目的に2004年に設立いたしました。「美術館へ行こう ~A Day in the Museum~」事業として、東京国立近代美術館、ポーラ美術館の無料入館日を設けます。この機会に、お友達、ご家族でお楽しみください。

「美術館へ行こう ~A Day in the Museum~」は次の法人・企業の協力により開催されます。

◎主催:独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館、公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館、特定非営利活動法人 美術ファンクラブ ◎<http://www.bijutsufanclub.com>

◎協賛: MS&AD 三井住友海上 シャティ株式会社

詳しくは裏面へ▶▶▶

美術館へ行こう

2011年—正月は家族で美術館へ行こう!!

1月2日は無料入館日

〈東京国立近代美術館(本館・工芸館)、ポーラ美術館〉

東京国立近代美術館

The National Museum of Modern Art, Tokyo

●本館所蔵作品展「近代日本の美術」

所蔵作品の中から時代ごとに単分けて構成し、各特集コーナーでは様々な角度から所蔵作品に光をあてていきます。

〈4F 特集コーナー〉神仏を表す

古くから描かれてきた仏画などは信仰にもとづいて描かれたものですが、明治以降における神仏の造形の制作背景や意図はそれまでと異なります。作家たちは、なぜ神や仏を表したのでしょうか。そして彼らが目指したものは何でしょうか? 絵画・彫刻など16点の作品で探ります。

〈3F 水彩・素描コーナー〉特集: 瀧口修造

詩人、シュルレアリスムの紹介者、美術評論家として多彩な活躍を続けた瀧口修造(1903-1979年)は、1959年頃から紙を焦がして作るパート・ドローイングやアカルコマニーなどの制作に没頭しはじめます。これら瀧口の造形的実験ともいべき作品を展示します。

〈3F 写真コーナー〉特集: 路上

路上は偶発的なできごとが繰り広げられる舞台であり、時代や季節、行きかう人々や乗り物などによって、その表情は刻一刻と変化しています。路面や、路傍におかれたもの、街角の雑踏など、移動する写真家の視線を通してとらえられた路上のさまざまな表情が垣間見られる写真作品20点を展示します。

●工芸館所蔵作品展「現代の人形 珠玉の人形コレクション」

工芸館では、作家による表現としての人形制作に注目し、近代以降の人形の歴史をたどるコレクションの形成につとめてきました。本展では、そのなかから平田郷陽、野口光彦、堀柳女といった創作人形の胎動期に重要な役割を果たした作家たちの作品を中心に、現代にいたるまでに「人形」の展開を約80点で紹介いたします。

1月2日に開催の特別企画

●オリジナルグッズまたは図録プレゼント

当館オリジナルグッズ、またはこれまでに行われた展覧会の中からピックアップした図録のいずれか1点をプレゼントいたします(数量限定のため、なくなり次第終了)。

●MOMATガイドスタッフによる所蔵品ガイド ※本館のみ

「MOMATガイドスタッフ(当館解説ボランティア)」によるガイドを14時から行います。参加者のみなさまと会場をまわり、数点の作品を一緒に鑑賞しながら、作品についての理解を深められるようお手伝いします(所蔵品ガイドは開館期間中、毎日実施)。

- 開館時間 通 常=午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
毎週金曜日=午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで) ※本館のみ
- 休館日 毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日又は振替休日となる場合は翌日)
- お問合せ 03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.momat.go.jp>
〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1(本館)
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園1-1(工芸館)

ポーラ美術館

Pola Museum of Art

●企画展

「アンリ・ルソー バリの空の下で—ルソーとその仲間たち」

本展覧会では、ルソーの没後100年を記念して、当館が収蔵するルソー作品8点と、国内で所蔵されている選りすぐりの作品を合わせ計16点を展覧し、ルソーが描き出したパリとその近郊にみる近代的風景、熱帯のジャングルをモチーフにした夢幻の世界を探究します。また、ルソーの才能をいち早く評価し、老画家を敬愛したピカソをはじめとするモンマルトルの前衛画家たち、ルソーの系譜をひく素朴画家ポーシャン、ボテロ、そしてルソーを「偉大な世紀の芸術家」と讃えた日本の洋画家の岡鹿之助を紹介いたします。

●小企画展「アンドレ・ドランの挿絵本」

画家ドランは数多くの優れた挿絵本の仕事を残しています。本展では、戯曲「セビリヤの理髪師」をとりあげ、晩年のドランの創り出した味わい深い挿絵本の世界をご紹介します。

●絵画「ポーラ美術館の絵画」

モネらフランス印象派からピカソへと至る19-20世紀の西洋絵画をはじめ、日本の画家による洋画、日本画からなる当館の絵画コレクションの中から、約60点の主要な作品を選んで展示します。

●化粧道具「ルネ・ラリックの香りと同時代のファッション」

20世紀フランスの代表的なガラス工芸作家ルネ・ラリックの香水瓶や化粧セットなどを、同時代のファッションに関する資料とともに、初めて本格的にご紹介します。

●工芸「人間国宝の手わざ 陶磁、漆、染織、人形」

1979年の設立以来、日本の伝統文化の向上に寄与してきたポーラ伝統文化振興財団と、当館のコレクションから、人間国宝に認定された作家の手わざが光る作品をご覧いただけます。

1月2日に開催の特別企画

●ポーラ美術館オリジナルカレンダーをプレゼント

ポーラコレクションの名画で作成したカレンダーを、当日館内アンケートにお答えいただいた方から抽選で30名様にプレゼントいたします。当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 年中無休(展示替えのため臨時休館あり)
- お問合せ 0460-84-2111 <http://www.polamuseum.or.jp>
〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285